



…『キラキラ』の由来…

NPO・ボランティアなどの活動が活発になり、多くの市民の顔がキラキラ輝くようにという願いを込めました。

なくそう迷惑行為！モラル・マナーアップ北九州

NO:90 平成21年10月15日

…つばやきサロン…

地域の方から、あたたかいエールを！

わんぱくハウスは、障害のため幼稚園・保育園・学童保育等で受け入れてもらえないなど、悩みをかかえたお母さんたちの子育て支援の場としてスタートしました。早いもので、気が付くと10年の月日が流れていました。たくさん子どもたち、お母さんとの出会いがあり、その中でいろいろな発見がありました。障害を持った子どもたちでも、健常児とのふれあいの中で頑張る力が育ち、また健常児も、障害を持っている人の大変さなどを知る事が出来、思いやりの心が育ちました。私は、大人が言葉で何を伝えるよりも、子ども同士のふれあいがいかに大切であるかを学びました。

健常児と障害を持った子どもたちが一緒にふれあえる機会をと、地域のお祭りへの参加、公園の草取り、サッカー教室や英会話教室への参加など、積極的に活動してきました。最近では、そんな子どもたちの活動に地域の方々からのあたたかいエールを頂けるようになってきました。中でも、「物を大切にしよう！」をテーマに始まった子どもたちによる「キッズショップ」は毎年大盛況で、「いいことやってるね！これからも続けていってね！」という嬉しい言葉を頂いたり、市民センターを拠点に地域の方がいろいろな物を寄付して下さるようになりました。最近では、市民センター祭りでも、七夕祭りでも「キッズショップを！」と声がかかるようになりました。

何かを一緒になって成し遂げる事ってなかなかありません。大きな子が小さな子を、強い人が弱い人を支えながら、彼らは「キッズショップ」を成功させています。そんな子どもたちに、私はいつも元気をもらっています。是非、皆さんも機会があれば子どもたちに会いに来て下さい。元気と勇気、そして人として一番大切な思いやりを子どもたちからもらえることでしょう。



キッズショップ



公園の草取り

特定非営利活動法人 わんぱくハウス代表 射場 小百合

第95回・サポートセンターの日/2009・9・25

★ NPO活動発表会 ★

障害のある仲間がいきいきと暮らす街
～真のノーマライゼーション社会を目指して～



特定非営利活動法人障害者支援協会
代表理事 江田 久美子さん

NPO法人障害者支援要（かなめ）会は、前身の小規模作業所カフェ・ラポールの頃より障害者への就労の場を提供してきました。

平成18年施行の障害者自立支援法により、同年1月に法人格を取得し、平成19年5月に小規模作業所から就労継続支援A型という個別給付事業へ移行しました。福祉サービスでありながら雇用契約を結んで、障害者の所得を保障するという、事業者にとってはきびしい選択ですが、障害のある人がこうありたいと望む人生を送れるよう活動を続けています。

カフェ・ラポールは小倉店と戸畑店の2店舗を、西南女学院大学福祉課の卒業生が運営しています。小倉店は西南女学院大学の隣にあって、従業員は学内でサンドイッチの販売したり、近隣住宅へ宅配などを行っています。戸畑店は戸畑区役所横の高齢者複合施設ふれあいの里とばたの2階にあり、戸畑区役所売店へ食品を納品したり・近隣施設へ配達したりしています。

従業員には接客マナーを習得するため日々の研修を行っています。また、余暇活動支援事業としてラポールクラブを設立し、トーンチャイムの演奏やバスハイクなどを通して従業員同士の、また地域との交流を図り、豊かな人間形成を育むための活動もを行っています。

今後は、障害者の生活や就労を支援する人を確保したり、福祉に関わる専門職員の育成に力を入れたりして、障害者支援を行う事業者たちが頑張れる制度づくり・支援を目指していこうと思います。



特定非営利活動法人
自立生活センターふるーむ
職員 後郷 法文さん

平成19年10月にNPO法人を設立した自立生活センターふるーむは、市内では2番目の自立生活センターです。

障害者自身が活動・運営者となり、障害者の視点から地域社会での自立を支える活動を行っています。実際、理事の過半数は障害者で、セミナーやイベント等の責任者も障害のある人が担当しています。

ふるーむでは活動に3つの柱を掲げ、地域の障害者すべてに障害の種別を問わず総合的なサービスを提供しています。

まず、「自分らしく生きる」こと。障害のある仲間が人として自信が持てるように、多くの経験を積めるような企画をし、実行しています。

次に「生活を支える」こと。障害のある人が地域で生活するためにヘルパーステーション「あいえる」を通じて、必要な介助者（ヘルパー）派遣をしています。

そして、「地域をつくる」こと。必要な制度や社会の意識を新しく作りかえる自立生活（IL）運動を行ったり、個々の様々な問題を解決したりして、支援しています。また、人権に関する学習をしたり、機関紙の発行やホームページで情報提供をするなど、障害のある人も、ない人もみんなが自分らしく生活できる地域づくりをモットーにしています。

今後もピア・カウンセリング講座を開講するなど障害者が社会へ参加しやすいような環境をつくるための運動等を行い、障害のある人が本当の意味で自己選択・自己決定・自己責任を担える存在となり、「自分らしい人生」を送る支援を行っていきたいと考えています。

イベント情報

◆◆馬渡良子先生の

チャットチャットつくれる節約カンタンレシピ

小技も含めた手づくりしたくなるレシピを紹介します♪

○日時：11月16日(月) 10:00~12:00

○会場：北九州市立大学 北方キャンパス内 同窓会館

○定員：先着40名 託児20名

※託児締切11月11日(水)

○参加費：300円 学生100円

○託児料：300円 2人目200円

○主催：コラボキャンパスネットワーク

○問合せ・申込先：高齢社会をよくする北九州女性の会

TEL093-583-7604

FAX093-583-7364

◆◆ハンドベル演奏とお話の夕べ

秋の夜長に、ハンドベル演奏と国際貢献のお話を皆様と一緒に楽しみたいと思います。

○日時：11月25日(水) 19:00~20:00

○締切：11月15日(日)まで

※定員になり次第締め切ります

○会場：北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”
1階 交流ひろば

○定員：50名

○申込方法：氏名、電話番号をFAXで

○参加費：無料

○問合せ・申込先：日本BPW連合会

北九州クラブ事務局

TEL/FAX093-652-6297

助成金情報

★キリン福祉財団公募助成

「地域における子育てに関わるボランティア活動」
地域における、子どもに関わる幅広い活動に対して助成します。

☆助成金額：総額4,000万円

(1団体当たりの上限額30万円)

☆応募締切：11月9日(月)(当日消印有効)

☆(財)キリン福祉財団事務局

〒104-8288

東京都中央区新川2丁目10番1号

TEL03-5540-3522

FAX03-5540-3525

<http://www.kirin.co.jp/foundation/>

★「三井物産環境基金」2009年度(第2回)助成

地球環境問題の解決に向けた社内外のさまざまな活動を支援・促進することにより、大切な地球と、そこに住む人びとの夢溢れる未来作りに貢献し、経済と環境の調和を目指す「持続可能な発展」を実現することを目的としています。

☆対象：日本国内に拠点をもつNPO法人、中間法人、公益法人、大学で活動実績が3年以上の団体。

☆助成額：総額最大2億5千万円(予定)

1件あたりの助成金額の上限なし。

但し、案件の効率的な実施に必要な金額とする。

☆応募締切：11月1日(日)(消印有効)

☆三井物産株式会社 環境基金事務局

〒100-0004

東京都千代田区大手町1-2-1

TEL03-5298-6616

Eメール office@mbk-kankyokikin.com

<http://www.mitsui.co.jp/csr/fund/>



知って納得、NPO・ボランティアのあれこれ

Q. NPO法人になると、補助金がもらえるのですか？

A. NPO法人になったからといって、県や市町村から補助金が受けられる訳ではありません。

活動分野によっては、県や市町村が公益上必要があると認めるとき、その事業などに対して補助を行う場合がありますが、それぞれ個別の基準が定められていて、申請に基づいて審査し、決定するのが一般的です。県や市町村の補助制度をまとめたものがないので、申し訳ありませんが、関係する課所に直接お問い合わせください。また、民間の財団法人などでも、様々な助成が行われています。

(参考) (財)助成財団センター

NPO法人の申請・認証状況

北九州市のNPO法人の申請・認証状況

平成10年12月1日～平成21年9月30日現在

	受理数	認証数	不認証数
【北九州】	286	246	—

2009年9月に認証された特定非営利活動法人

- ONPO法人夢絆 (9月25日認証)
- ONPO法人エタニティトゥース (9月29日認証)

全国のNPO法人の申請・認証状況

平成10年12月1日～平成21年8月31日現在

	受理数	認証数	不認証数
都道府県	36,442	35,094	434
【福岡県】	1,319	1,278	1
内閣府	3,285	3,077	130
全国計	39,727	38,171	564



(ミニステージのパフォーマンスの様子)

市民ふれあいフェスティバルが開催

10月4日(日)、“あなたとわたしのやさしい絆”をテーマに市内の市民活動団体やボランティア団体が集まり、市民ふれあいフェスティバルがウェルとばたで開催されました。市民活動サポートセンターも2階交流プラザに活動紹介コーナーのブースを設け、NPO団体やボランティア団体の活動内容のパネルやチラシなどを展示し、来場者に紹介しました。また、他の会場では各分野におけるボランティア活動の分科会も行われました。ミニステージでは様々なパフォーマンスが繰り広げられ、バザー会場では平尾台の手打ちそばや帰国者による水餃子の販売などが来場者の人気を集めていました。



(サポートセンターのブース)



北九州市市民活動サポートセンター

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11-4
北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”1F

TEL 093-562-5309 FAX 093-562-5310

URL <http://www2.kid.ne.jp/v-net/> E-mail: support3@axel.ocn.ne.jp

市民活動サポートセンターでは、NPO・ボランティア活動に関する相談や情報の提供を行っています。また、団体間のネットワークづくりの促進のため、定期的な交流会を開催しています。

- ◆サポートセンターの日 …毎月テーマを変えて、交流会をしています。
- ◆専門相談員が相談に対応…月～土曜日 17:00～21:00
日曜・祝日 13:00～17:00
- ◆ミーティングコーナー…パーティーションで仕切った無料の会議室。
※要予約
- ◆掲示板スペース…団体や活動に関するチラシ等を掲示しています。
- ◆利用時間 月曜日～土曜日《10:00～21:00》
日曜日・祝日 《10:00～17:00》
【休館日】10月29日(木)・11月26日(木)

編集後記

ミニシアター系の映画好きにはその殿堂であった天神シネテリエが10月12日を以って閉館になりました。北九州市内には映画館(シネコン)が数ありますが、どれも同じような映画ばかり上映していて特徴がありません。

唯一、昭和館だけは心癒されます。上映の時期は封切りから数ヶ月待たなければいけませんが、2本で千円はお値打ちで魅力的です。

それにしても天神シネテリエが成人映画専門の映画館として再出発するという事実には納得できない私です。byパクン